

## 貴志川線19年度決算

# 利用者・収入とも増、赤字も縮減

和歌山電鉄は5月15日開催した「貴志川線運営委員会」で、貴志川線の運営を南海電鉄から引き継いで2年目となる19年度決算を発表しました。この決算は5月20日の決算役員会で確定し、6月23日開催の株主総会で承認されることになっています。

それによりますと、19年度運輸収入は、前年より778万2千円増の3億2,351万4千円（対前年比102.5%）となり、輸送人員は前年より4,099人増加させ211万8千人（対前年比100.2%）となり、収入、輸送人とも南海時代の

192万人から大幅な増加をはたした18年度の211万人台を、さらに増加させることができました。

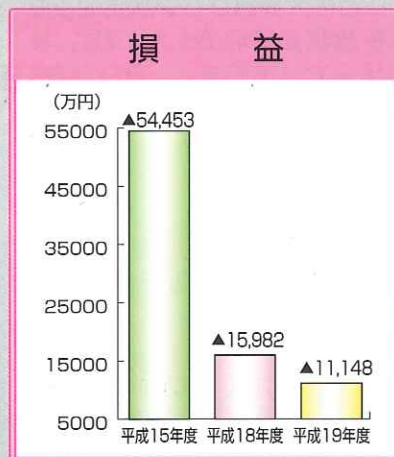
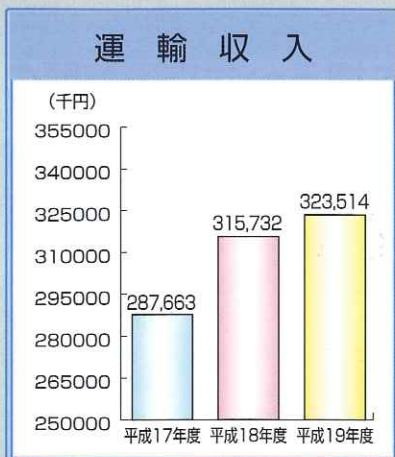
### 単年度赤字は3,364万円

最終損益は、和歌山市と紀の川市の運営費補助金8,200万円算入前の単年度で3,346万円の赤字となりました。これに前期繰越損失7,784万円を加え補助金8,200万円を引くと次期繰り越し損失は2,984万円となり、昨年度に比し4,836万円の赤字縮減となっています。この要因は経営努力による乗客増とコスト削減

の効果があつたと和歌山電鉄では分析し、20年度でこれをゼロにできるよう努力していきたいが、今後は鉄道施設での大規模な修繕が必要なことから、今後も行政各方面からのご支援をお願いしたいとしています。

19年度決算では経営基盤の確立に大きく前進していますが、地方交通線をとるべく厳しい環境は相変わらずであり、和歌山電鉄のがんばりに応えて、私たちが持続に向けて利用促進と活性化に一層の努力が求められていることに変わりはありません。

## 業績推移



■ (南海電鉄) 15年度    □ (南海電鉄) 17年度    ■ (和歌山電鉄) 18年度    ■ (和歌山電鉄) 19年度

# 20年度(2008年)活動計画(概要)

貴志川線の未来を“つくる”会

## はじめに

新生和歌山電鉄貴志川線は関係者の努力により、発足以降乗車人員・収入とも対前年比100%以上を確保し、順調な滑り出しの中で3年目を迎えています。経営基盤の確立にはまだまだ努力が必要です。私たちの地域に絶対必要な公共交通手段として、また環境面からも、貴志川線を永続させ発展させることは大きな意味をもっています。

貴志川線の未来をつくる会は、本年度も貴志川線の永続と発展を願う住民組織として、住民の声を代表して「もっと！ずっと！貴志川線」を合言葉に貴志川線の利用促進と目標実現のため、以下の理念に基づき活動を展開します。

## 基本方針

貴志川線の未来をつくる会は、その活動の目的を「和歌山電鉄貴志川線が、環境に優しく利用しやすい鉄道として発展していくことを願って関係機関と連携して活動すること及び沿線住民等への啓発活動を目的とする」と会則に掲げています。

本年度も、この基本方針の実現、推進のため貴志川線の応援団として活動を展開します。

## 中長期目標

- (1)大池遊園駅の電車対向設備復活
- (2)日前宮～神前駅に新設置(津秦付近)
- (3)利用促進へ貴志川線祭りなどのイベント開催

## 具体的な取り組み

1. 住民の声と想いを結集できる「つくる会」を創り、発展させる行動に取り組みます
  - ①会員数3,000名以上をめざして、あらゆる機会に呼びかけます
  - ②登録スタッフの拡大と活動参加に取り組みます
  - ③総会に替わるものとして「活動報告集会」の開催をめざします
  - ④アンケート調査などで要望を集約、和歌山電鉄や運

営委員会に反映します

- ⑤HP、貴志川線ニュース、会報などを通じ広報・啓発活動を強めます
- ⑥活動の発展へ役員会の定期開催を引き続き実行します
2. 貴志川線永続へ利用促進活動に取り組みます
  - ①利用促進へ各種イベントの開催などに取り組みます
  - ②第4回貴志川線祭りの開催と成功を目指します
  - ③マイルール・マイステーションへ駅の美化活動(清掃・花植栽・塗り替え)に引き続き取り組みます
  - ④日本一心豊かなローカル線へマナー向上に取り組みます
  - ⑤「さくら街道 貴志川線」めざす桜の植樹活動に取り組みます
3. 地方交通線の存続・活性化へ学習・政策活動に取り組みます
  - ①学習会、シンポジウムなどの開催、参加に取り組みます
  - ②地方鉄道関係の住民団体との交流活動に取り組みます
  - ③交通政策に関わる資料の収集と活用に取り組みます

## 20年度役員名簿(平成20年3月22日第22回役員会選任)

役	職	氏名
代	表	濱 口 晃 夫
副	代 表	奥 重 視
事	務 局 長	奥 山 和 生
事	務 局 次 長(総務担当)	奥 重 貴
事	務 局 次 長(IT担当)	中 嶋 正 弘
事	務 局 次 長(企画担当)	堀 内 建 作
会	計	堀 瑛
監	査	山 本 好 延
監	査	中 西 充 子

『貴志川線の未来を“つくる”会』が発足して5年目、貴志川線が和歌山電鉄により運行してから3年目を迎えました。この間、皆様方のご支援ご協力、また和歌山電鉄の様々な運営努力のお陰で、乗客は全国各地からお出でいただき前年比プラスで推移しております。このことは大変喜ばしい状況ですが、まだまだ課題は多く手放して安心できる状況ではありません。

第一に全体では乗客は増加しているのですが、内容を見ますと車依存の傾向に歯止めが掛からず、また高齢化もあって通勤定期利用者は少し減少してきています。

第二にポイント、枕木等施設の老朽化もみられ安全安心のために対応していかなばなりません。

10年間(残り8年)行政からの支援が担保されていますが、その後についてはまだ確定しておりません。これ以降も安定して存続、永続していくためには今以上の行政からの支援をお願いしていく必要があります。

## 車の使用を控え公共交通機関のご利用を

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱 口 晃 夫

す。その為には皆様方のご支援ご協力が是非必要であり、これ無くして実現いたしません。これからも変わらぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

具体的には車の使用を控え、公共交通機関のご利用、特に和歌山電鉄貴志川線のご利用をお願いいたします。これは今世界的に問題となっているCO<sub>2</sub>の削減、温暖化防止等環境保全のためにも有効ですし、何よりも我々の生活環境を守るため、貴志川線の永続のために必要で

す。施設の老朽化に対する対応としては、行政の支援をお願いしたい。このために道路予算に取り組んでもらえないか、東京都での地下鉄、北海道の新幹線等の例もあり可能であると考えています。(廃線となるとその対応のためにより多くの予算が必要です。)

貴志川線を守っていくために、今後も皆様方のご理解ご支援を、『貴志川線の未来を“つくる”会』への継続入会をお願いいたします。

2007/07/29  
おもちゃ電車発車!



2007/07/29 おもちゃ電車発車!



2007/11/18 第10回 駅の大掃除(貴志駅) 49名参加



2007/11/18  
第10回 駅の大掃除 (貴志駅) 49名参加

つくる会  
活動報告 No.4

2008/02/02  
「さくら街道貴志川線」 竈山駅桜植樹祭



2008/02/02 竈山駅桜植樹祭 (主催 貴志川線運営委員会)



2007/12/01  
貴志駅の冬のイルミネーション完成!



2007/12/01 貴志駅の冬のイルミネーション完成!



2008/01/05 スーパー駅長就任式/貴志川高校の生徒さんによる紙芝居



2008/01/05 スーパー駅長就任式  
貴志川高校生徒さんによる紙芝居



2008/02/03 第11回 駅の大掃除(竈山駅) 51名参加



2008/03/16 第12回 駅の大掃除(大池遊園駅) 54名参加

2008/02/03  
第11回 駅の大掃除 (竈山駅) 51名参加  
2008/03/16  
第12回 駅の大掃除 (大池遊園駅) 54名参加

2008/04/26  
第3回 貴志川線祭り (於 伊太祈曾駅と伊太祈曾神社) 3,500名参加



2008/06/01  
「貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」 (於 甘露寺前) 250名参加



# 2007年度(平成19年度)会計決算報告

2007年4月1日～2008年3月31日  
貴志川線の未来を“つくる”会

2007年度(平成19年度)会計決算がまとまりましたので、ご報告いたします。

- 収入は、2007年度2,729名の会費と、前年度繰越金および、寄付金、貴志川線祭りの収入、グッズ販売手数料、預金利息等です。
- 支出は、慎重にかつ効率的な執行を図り、各種行動は役員、会員のボランティア活動をお願いし、節約を図ってきました。事務費がプロジェクター購入、イベントガイド・ポスター印刷、資料・貴志川線ニュースのコピー料等で昨年を大きく上回りましたが、支出全体では昨年を若干上回る程度で決算することができました。
- 繰越金の処理については、
  - ①131万6,636円全額を次年度会計に充当します。
- 「基金」および「特別会計」について
  - ①行政の補助が10年間と限定されており、また貴志川線の施設、車両の老朽化が進んでいることから将来に備えて、250万円を「貴志川線整備基金」として定期預金を行い積み立てを行います。
  - ②ニュース和歌山から20年3月12日いただいた「ニュース和歌山基金25周年記念助成金」(150万)については、その用途を明確にするため、「ニュース和歌山基金特別会計」普通預金口座を開設し管理、執行します。

## 2007年度決算報告

### 《収入の部》

科目	金額	摘要
前年度繰越金	3,126,119	2006年度繰越金
会費	2,729,000	2007年度会員 2,729名×1,000円
雑収入	230,301	寄付金(19名様)、貴志川線祭り出店、グッズ販売手数料、預金利息
合計	6,085,420	

### 《支出の部》

科目	金額	摘要
通信費	750,137	はがき・切手代(会費納入・貴志川線祭り・年賀状送付等)、電話料金・工事代金
郵便振込料	185,240	会費振込料(つくる会負担)1,880名分
事業費	354,921	貴志川線祭り、駅美化、記念植樹、コミセンまつり、イベントガイド作成、会費徴収諸費等
広告宣伝費	406,350	のぼり作成、ボール代、インターネット費用、駅貼り付け看板製作費、垂れ幕等
事務費	542,136	役員会会場費、プロジェクター購入、封筒、宛名ラベル、各種文具、資料・ポスターコピー代
協賛金	30,000	貴線祭協力金
基金	2,500,000	貴志川線整備基金
合計	4,768,784	

### 《決算内容》

収入	6,085,420
支出	4,768,784
次年度繰越金	1,316,636

### 《繰越金内容》

普通預金	1,244,314	紀陽銀行国体道路支店
現金	72,322	
合計	1,316,636	

### 《基金内訳》

定期預金	2,500,000	貴志川線整備基金 紀陽銀行国体道路支店
------	-----------	------------------------

### 《基金内訳》

普通預金	1,500,000	ニュース和歌山25周年記念助成金 ゆうちょ銀行和歌山友田郵便局
------	-----------	------------------------------------

## 会計監査報告

2008年5月10日

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口晃夫 殿

監査 山本好延 ㊞

監査 中西充子 ㊞

貴志川線の未来を“つくる”会規則第6条8項にもとづき、2007年度(平成19年度)会計監査を実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2008年5月10日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務所
3. 監査対象 2007年度会計
4. 監査期間 2007年4月1日～2008年3月31日
5. 監査の結果 帳簿、証拠書類等、正確かつ適正に処理されていることを認めたので報告いたします。

以上

## TOPICS

### ■「ニュース和歌山基金」いただきました

ニュース和歌山社が地域に貢献し住みよい社会を実現しようと設立された「ニュース和歌山基金」が25周年を迎えたのを記念し、新たな事業を実施することになり、貴志川線の未来をつくる会が支援先として選ばれました。先日代表はじめ役員が本社を訪れ小川社長から助成金をいただきました。

ニュース和歌山

40余年の歴史を持つ和歌山県の代表的なタウン情報紙、毎週2回発行し和歌山市周辺4市に17万5千部を配布

### ■再生・活性化へ「法定協議会」発足しました

地方鉄道の再生・活性化へ国が経費の半額補助を行う「地域公共交通再生事業」の創設が決定。事業主体は事業者、市町村、道路管理者、住民からなる協議会(法定協議会)となる事から、現行の貴志川線運営委員会の各委員とオブザーバーに近畿運輸局、同和歌山支局を構成員とする法定協議会がこのほど設立されました。

今後実態調査を始めとして貴志川線の乗客誘致、利便性向上へ具体的な取組みが行われます。